



新小山市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.37

1 副院長挨拶 ～ ふたつの病棟回診 ～

コロナの影響が長引くなか、日常生活のパターンが変化している方も多いのではないのでしょうか？ 勉強会・講演会・飲み会、確かに減りましたよね。みなさんは、新しい余暇の時間をいかがお過ごしでしょうか？

私の友人たちの中にも、新しい趣味を始める人が多く見られます。私はというと、8年前から始めたガーデニング、主にバラの栽培ですが毎年少しずつ数を増やしていきました。先日、鉢植えのバラの株数をかぞえたら、72鉢にもなっていました。その他に、紫陽花、ジャーマンアイリス、クリスマスローズなど50種類ほどの植物が、「1年じゅう花のあふれる庭」をコンセプトに計画は進行中です。

ライバルは、当初から足利フラワーパークです！！

そこで朝4時から始まるひとつめの回診は、バラの水やり回診です。病気になっているものはないか、咲き終えた花殻はないかなど、水を与えながらの作業は2時間近くに及び土日には3時間をゆうに超えます。お寺の朝のお勤めのような作業も、ルーチンになるとそれほど苦にもなりません。逆にすくすく育つ植物を眺めていると、1日のエナジーチャージとして貴重な時間となっています。

自宅での簡単な朝食を終えて車に乗り込み、いざ次の戦場へと向かいます。市民病院に着くと、すぐに病棟に向かい7時から次の回診です。こちらは朝から「痛かった」「腫れている」「動かない」など訴えはさまざまです。エアコンの動き出す前の病棟回診は、蒸し暑く普通の汗と冷や汗で朝からびしょりになります。

沈黙のバラvs 喋る患者さん、どちらも油断するとすぐに悪化してしまう不安定な状態。こんな生活を8年も続けていると、植物も人も似たようなものだ実感させられます。バラの状態を見て、いつ肥料をやるか、いつ病気にならないための薬を散布するかは、ある程度のルールはありますが、主治医の判断なのは患者さんと一緒です。抗生剤はいつまで続けよう？そろそろギプス外すかな？など日々選択を迫られる瞬間の連続です。

水を撒きながら、今日のスケジュールを思い起こし、手術の手順をおさらいします。認知症の患者さんや重症の患者さんは、ある意味「沈黙のバラ」と同じかもしれません。言葉にできない分、こちらがその状態を正確に判断してあげないと良い成果は挙げられません。

花を買いに行く時に、正規に売っている普通のお花ではなく、特売コーナーの弱ってきている花たちを見ると安いということよりも、なんとか救ってあげたいと思う闘志は、もはや職業病でしょうか？

さあ、今日も朝の3時すぎ、ばね指が疼いて目が覚める。そうだ、トイレにも行こう！典型時なおじいちゃんの朝の行動パターンになっている。AIスピーカーのアレクサに話しかけ、クラシックやジャズをリクエスト、ドリップコーヒーを沸かし、真っ暗な中に浮かび上がるバラを眺めながら至福の時間が始まる。まだ寝ていればいいのに、勝手な自己陶醉の時間がスタート！

これから始まる「ふたつの病棟回診！」

慢性的な睡眠不足にはなりますが、こんな生活いかがですか？

優雅か、過酷かはあなた次第です。

令和 4年 6月

新小山市民病院 副院長・整形外科部長 東 高弘



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
新任医師・研修医紹介	3
お知らせ	4

ハイライト

- 地域災害拠点病院に指定されました！
- ポットラック、医療・連携の年間スケジュールを記載しました。奮ってご参加ください。
- 4, 5月にたくさんの新任医師が入職いたしましたのでご紹介させていただきます。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率の報告をさせていただきます。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日 19:15 ～

オンライン（Zoom）にて
開催しております。

6/7, 8/2, 10/4, 12/6, 2/7

地域完結型 医療・連携の会 ～ WEBライブセミナー ～

奇数月、第3木曜日 19:15 ～

7/21, 9/15, 11/17,
1/19, 3/16

今後も皆様のご意見をも
とに改善を行っていきます
ので、たくさんのご参加を
お待ちしております。



地域災害拠点病院 に指定されました！

令和4年4月1日付けで、
栃木県より「地域災害拠点
病院」に指定されました。

また、同日付けで宮脇副
院長が栃木県から災害医療
コーディネーターを委嘱さ
れました。

当院の施設が大きな被害
を受けて病院避難とならな
い限り、診療を継続する必
要があります。どんな時も
安心して受診できるようさ
らなる体制整備に努めてま
いります。

ドクターの紹介 4・5月採用の医師を紹介します。

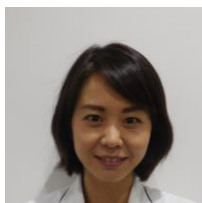


糖尿病・代謝内科
副部長
竹田 幸代

令和4年4月より自治医科大学付属病院より新小山市民病院、
糖尿病・代謝内科に赴任いたしました竹田 幸代（たけだ ゆき
よ）と申します。

自治医科大学付属病院にて10年間、糖尿病を中心とした
診療を行ってまいりました。今後も糖尿病や甲状腺を含む内分
泌疾患の患者様の診療に励みたいと考えています。

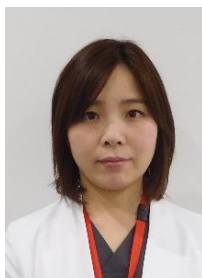
糖尿病の患者様は年々増えておられ、他疾患との関わりも深
い疾患であることから、他科の先生や小山地区医師会の先生方
と連携させていただきながら最適な治療を提案させていただ
ければと考えております。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしく
お願いいたします。



形成外科
副部長
樋貝 詩乃

令和4年4月より新小山市民病院形成外科に赴任致しました、
樋貝 詩乃（ひがい しの）と申します。自治医科大学を卒業
後、義務年限中は石川県、山梨県で総合内科医（主に消化器
内科）として勤務しておりました。初期研修医時より形成外科
に興味があり、義務年限後より自治医科大学形成外科に入局
致しました。

再び地域医療に微力ながらも貢献できるように頑張ります
のでどうぞよろしくお願い致します。



皮膚科
副部長
山内 瑛

令和4年4月より新小山市民病院皮膚科に着任いたし
ました山内 瑛（やまうち あきら）と申します。獨協医科
大学を卒業後、同大学で初期研修を受け、2014年に同大学
皮膚科学講座に入局しました。大学在学中は急性期病院
から療養型の病院など様々な医療機関でも幅広い分野で
診療してまいりました。皮膚科疾患は、感染症、腫瘍、
アレルギーなど多岐にわたり、専門性も高いので皮膚科
専門医として少しでも地域の皆様のお役に立てればと思っ
ております。何かお困りのことがあればいつでもご相 談
いただければ幸いです。日々精進してまいりますのでどう
ぞよろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科
川幡 俊美

令和4年4月より自治医科大学附属病院より新小山市民病院
呼吸器内科に赴任いたしました川幡 俊美（かわはた としみ）
と申します。

埼玉医科大学医学部を卒業後、自治医科大学附属病院で初期
臨床研修を行い、同院の呼吸器内科に入局しました。

半年間と短い派遣期間ではございますが、小山地区の呼吸器
診療に少しでも貢献できますよう努めてまいります。

至らぬ点多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど
よろしくお願い致します。



小児科
高岩 由哉

令和4年4月から赴任しました高岩由哉（たかいわ ゆうや）
と申します。高校まで東京で過ごし、獨協医科大学卒業後は
同院で初期研修を行い、同院小児科に入局しました。獨協医科
大学病院やNHO宇都宮病院の他、計4年は那須赤十字病院で
勤務しておりました。小児神経精神を中心に県南地域医療に
貢献できますよう尽力して参ります。



神経内科
森 昭人

令和4年4月から新小山市民病院神経内科に赴任いたしました森昭人(もり あきと)と申します。杏林大学医学部を卒業後、自治医科大学附属病院で初期臨床研修を終了し、同脳神経内科へ入局いたしました。

一年間と限りある派遣期間ではございますが、小山地区医師会の先生方のご支援ご指導のもとで地域医療に少しでも貢献させていただきたく存じます。

至らぬ点多々あるかと存じますが、誠心誠意励みたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

スペースの関係上、残りの先生はお名前のみとさせていただきます。



腎臓内科
三澤 響平



呼吸器内科
白石 守



神経内科
加倉井 綾香



消化器内科
荒井 道



消化器内科
藤沼 俊博



循環器内科
青木 弘貴



循環器内科
須田 彬



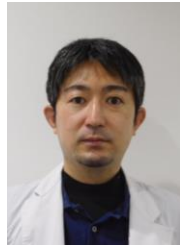
循環器内科
奥山 貴文



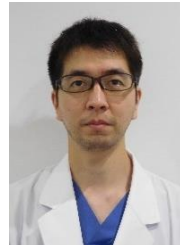
小児科
峯村 はる香



外科
津久井 秀則



外科
菅野 真之



整形外科
稲田 智



整形外科
渡部 真紀

初期臨床研修医入職！

基幹型臨床研修病院に指定されて初めての初期臨床研修医が2名入職しました。入職後すぐに行われましたポットラックカンファレンスにも積極的に参加をして、一生懸命にメモを取っていました。

現在は各診療科の現場で研修がスタートし、指導医や先輩医師、コメディカルと共に日々研修に励んでいます。



初期研修医
三木 哲治

令和4年4月より新小山市民病院に初期臨床研修医として参りました。三木 哲治(みき てつじ)と申します。栃木県、そして小山市での生活ははじめてで緊張しておりますが、しっかりと学び、小山市の医療に貢献していけるようになりたいと考えております。小山地区医師会の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



初期研修医
矢島 直人

令和4年4月より、新小山市民病院へ初期研修医として参りました。山梨大学出身の矢島 直人(やじま なおと)と申します。地域において様々な役割を担い、職員の皆様が日々研鑽しながら患者と向き合われている当院で学ばせていただきました。浅学非才の身ではありますが、初心を忘れず日々精進してまいりますので、何卒、宜しく願い致します。

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oya.ma.city.hospital>



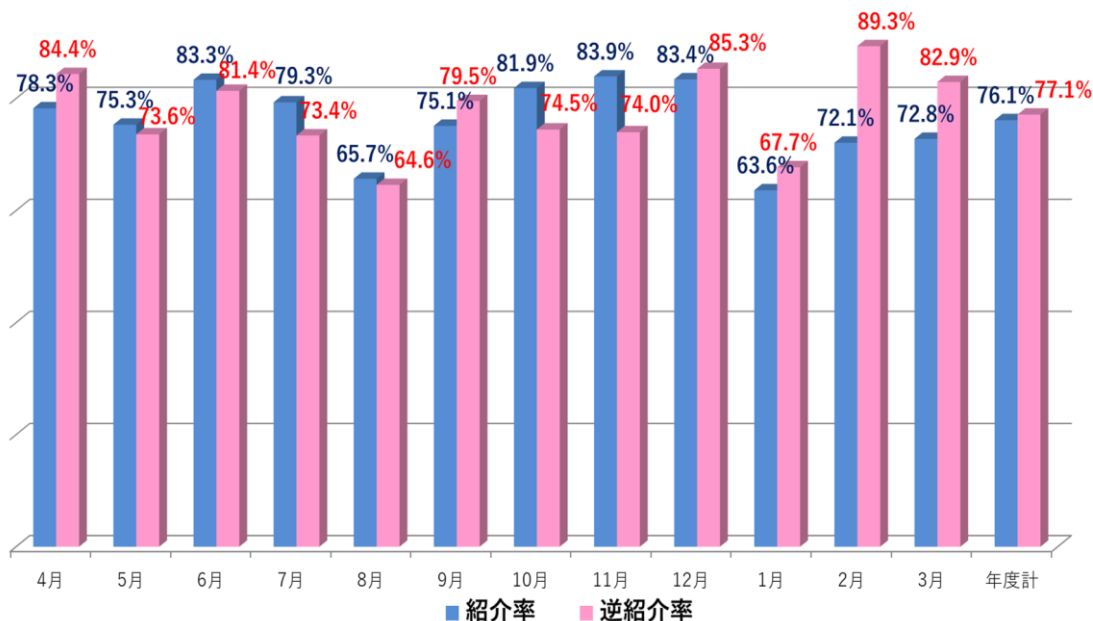
患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、8月と1月には紹介患者数の減少もありましたが、地域の先生方のご理解により年間累計で紹介率76.1%となりました。

令和3年度 紹介率・逆紹介率



第35・36回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

第35回、第36回地域完結型医療・連携の会 WEBセミナーをWEBと会場でのハイブリッドで行いました。

令和3年度は、地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナーに院外で延べ121名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

WEBと会場のハイブリッドでの開催が2年目になり、初めて参加いただく方も増えてきています。今後もより多くの皆様に参加いただけるよう務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

- ・日時 3月17日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 宮脇副院長
- ・症例報告者
脳神経外科 紺野医師
糖尿病・代謝内科 出口医師
消化器内科 田野医師
- ・院外参加者
WEB 27名

会場とWEBでの質疑応答のやり取りもスムーズに行われています。

- ・日時 5月19日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 東 副院長
- ・症例報告者
整形外科 倉林医師
耳鼻咽喉科 山内医師
皮膚科 塚田医師
- ・院外参加者
WEB 20名

